

2017年11月吉日

## 『官・民・民による地域型CSVエコシステム【地方創生×国産材利用】』が「ウッドデザイン賞 2017」を受賞

ニチハ株式会社（本社：名古屋市、社長：山中龍夫）は、この度、ウッドデザイン賞 2017（主催：ウッドデザイン賞運営事務局 林野庁補助事業）において、行政・他団体と協力して応募した作品（プロジェクト）が同賞を受賞しました。官・民が連携して地方創生と国産材利用を通じた環境貢献を実現し、社会的価値、経済的価値を同時に実現した、意欲的な取り組みであることが高く評価されました。

取り組みの主な内容は、宮城県七ヶ宿町が整備する「地域担い手づくり支援住宅」3・4号棟において、100%国産材を使用した構造躯体で建築した住宅に、オフセットクレジット（CO<sub>2</sub>排出権）付き国産間伐材を用いたカーボンオフセットサイディングを外壁に使用することで、1棟あたり約3.1トンのCO<sub>2</sub>の環境貢献を実現するというもの。オフセットクレジット（CO<sub>2</sub>排出権）による約1.6トンのCO<sub>2</sub>削減と、構造躯体に使用した国産材によるCO<sub>2</sub>固定量約1.5トンを合わせた削減効果によるものです。

弊社では、2015年「カーボンオフセットサイディング」「Fu-ge」、2016年「COOL」に続き、3年連続の受賞となります。今後もウッドデザイン賞の主旨に賛同し、国産材の利用推進に努めてまいります。

- 受賞作品：官・民・民による地域型 CSV エコシステム【地方創生×国産材利用】
- 受賞部門：ソーシャルデザイン部門 コミュニケーション分野
- 応募団体：宮城県七ヶ宿町 古河林業株式会社 ニチハ株式会社
- 作品概要：七ヶ宿町における「地域担い手づくり支援事業」をベースにした、同町、古河林業(株)、ニチハ(株)の協働による CSV(Creating Shared Value)プロジェクト。七ヶ宿町の若手定住に向けた住宅建築に際し、国産材利用とCO<sub>2</sub>クレジット提供を通じ、地方創生、林業活性化、環境保全を同時に実現した。



### ※ウッドデザイン賞

2015年より実施され、今年で3回目となります。

木の良さや評価を再発見させる製品や取り組みについて、特に優れたものを消費者目線で評価し、顕彰する制度です。これによって、“木のある豊かな暮らし”が普及・発展し日々の生活や社会が彩られ、ひいては国産材の需要が拡大し、適正な森林整備が進むことを目的としています。



↑ニチハによる「カーボン・オフセット証明書」贈呈式の模様。  
 左：ニチハ(株)取締役上席執行役員 調査部長 吉田康則  
 中：七ヶ宿町 小関幸一町長  
 右：古河林業(株) 統括管理部 部長 西川義寛氏